

日本工学院専門学校	開講年度	2020年度	科目名	コンサートプロダクト2	
科目基礎情報					
開設学科	コンサート・イベント科	コース名	コンサートPAコース	開設期	後期
対象年次	1年次	科目区分	必修	時間数	240時間
単位数	8単位			授業形態	実習
教科書/教材	回によりレジュメ・資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。				
担当教員情報					
担当教員	中里哲也・鈴木裕大		実務経験の有無・職種	有・PAエンジニア	
学習目的					
<p>コンサートやイベント現場におけるPAスタッフを目指す。</p> <p>コンサートPAスタッフとしての基本的な知識の理解をはじめ、イベントPAを中心に仕込み作業の体験をし、ミキシングテクニックの基本を学ぶ。この科目を受講する学生は、コンサート・イベント業界の中が協働の場である事を理解し、初めて係る舞台業界で求められる技術、知識の基礎を理解できるようになる。また、どのような人材を求められているか、その為にはどのような知識が必要で、どのような人間であれば良いかを理解できる様になる。</p>					
到達目標					
<p>この科目では、仮設音響機材の取り扱い、段取りを含めた適切なセッティング、一つ一つの音源を大切に收音する心とマイキング、出演者の気持ちを汲み取り、そのイメージを崩さずにお客様に届ける感性とスキルをバランスよく習得する。</p> <p>また、舞台スタッフとして自分の役割と立ち位置を理解し、自分の適性や興味・関心と結びつけて理解すること。今後社会に出て活動するために必要な能力を具体的にイメージし、ゆくゆく社会や組織で協働することの重要性を理解することなどができるようになることを目標にしている。</p>					
教育方法等					
授業概要	<p>コンサートPAスタッフとしての必要な知識の理解をはじめ、基本的な機材の仕込み作業（ケーブル巻き、機材の設置、配線、音量操作など）を片柳アリーナ（記念ホール）・A-Stage・BOXステージ、PA実習室などで行う。</p> <p>また、仕込み図や回線表を元にセッティングを行い、その作業を反復練習することにより理解度とスピードを上げていく。</p> <p>それに必要な知識、技術をゼミ形式で併用して身につけ、グレード試験にて自己確認する。</p>				
注意点	<p>遅刻は厳禁。授業開始の10前に実習室にて、服装・メモ等の準備をする。</p> <p>「おはようございます」等挨拶が非常に大事です。自分から声を掛けられるようにしましょう。</p> <p>実習科目なので重量物・突起物のある機材の扱いを実施します。怪我をしない、させない様に服装などに注意が必要。</p> <p>機材破損の無いように十分注意をし、より良い学習環境を作るために最低限のルールを守ること。授業時数の4分3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。</p>				
評価方法	種別	割合	備考		
	試験・課題	40%	グレード試験として イベントPAシステムの運用・調整試験を実施する		
	小テスト	0%			
	レポート	10%	授業内容の理解度を確認するために実施する		
	成果発表 (口頭・実技)	50%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する		
平常点	0%				
授業計画（1回～15回）					
回	授業内容	各回の到達目標			
1回	マルチウェイの理解と設置法	スピーカ単体の性能を理解し、マルチウェイにて使用する場合の注意事項の理解			
2回	SPシステムの配線とチェック方法	SPシステムの配線方法の習得と回線チェック方法の理解			
3回	スピーカにおける音質調整	グラフィック・パラメトリックイコライザー等 使用法と音質調整テクニックの理解			
4回	モニターコンソールの使用方法	モニターコンソールの使用方法とオペレート技術の理解			
5回	AUX回路	AUX回路からモニタースピーカへの配線と音だし、コンソール使用法の理解			
6回	ハウスとモニター卓・オペレート	ハウスシステムとモニターシステムのセッティングとオペレートにおける心がけの理解			
7回	PA機材の理解	リバーブ・ディレイ 等空間系エフェクター研究			
8回	コンサート実習準備	プランニング、仕込み、オペレート、チューニング練習の理解			
9回	1年次コンサート実習 本番	コンサートの本番を通じて、ミキシング技術とアーティストとのコミュニケーションを理解・体験する			
10回	コンサート実習の反省と検証	コンサート実習の反省と検証、次回への課題確認			
11回	グレード試験	イベントPAシステムによる音出し、調整等。			
12回	デジタルコンソールの基礎知識	デジタルコンソールの基礎知識の理解			
13回	修了コンサート 準備	プランニング、仕込み、オペレート、チューニング練習			
14回	修了コンサート 本番	コンサートの本番を通じて、ミキシング技術とアーティストとのコミュニケーションを理解・体験する			
15回	修了コンサート実習の反省と検証	次回2年次へ向けて課題確認			